

別添

下水道グローバルセンターの 構想について



GCUS: Japan Global Center for Urban Sanitation

平成21年4月28日
下水道グローバルセンター事務局

1. グローバルセンター活動3つの目的

世界の水・衛生問題等の解決に向けた国際貢献

国及び地方公共団体等の国際協力活動、国際交流活動を支援しつつ、世界の水・衛生問題や地球温暖化問題の解決に貢献。

下水道関連企業のビジネス展開支援

海外のビジネス展開に意欲的な下水道関連企業を学官が強力に支援し、我が国の下水道界の活性化にも貢献。

国内への下水道施策への還元

海外での活動成果を、我が国の地方公共団体に還元し、新たな下水道施策の展開に反映。

2. 活動内容

計画・建設から管理・運営に至るまで、我が国の産学官のあらゆるノウハウを結集し、海外で持続可能な下水道システムを普及させる。

(1) 国際協力活動の展開支援

JICA等が実施する国際協力活動に対し、技術的側面を中心とした支援を実施

(対象国・地域ごとの活動グループを編成)

公開可能な情報の蓄積

必要な情報の提供

(2) 情報共有プラットフォーム、海外ネットワークの構築

国際協力活動に必要な人材、技術等の情報や、海外の下水道事情などの各種情報を集約。

国内の地方公共団体や下水道関連企業などに幅広く情報を提供。

海外の下水道関係団体とのネットワークを構築。

要請

支援

情報提供

ネットワーク形成

支援
対象国

要請

支援

JICA、国土交通省など

- ・技術協力
(計画から維持管理、フォローアップまで)
- ・円借款
- ・案件形成活動

地方公共団体

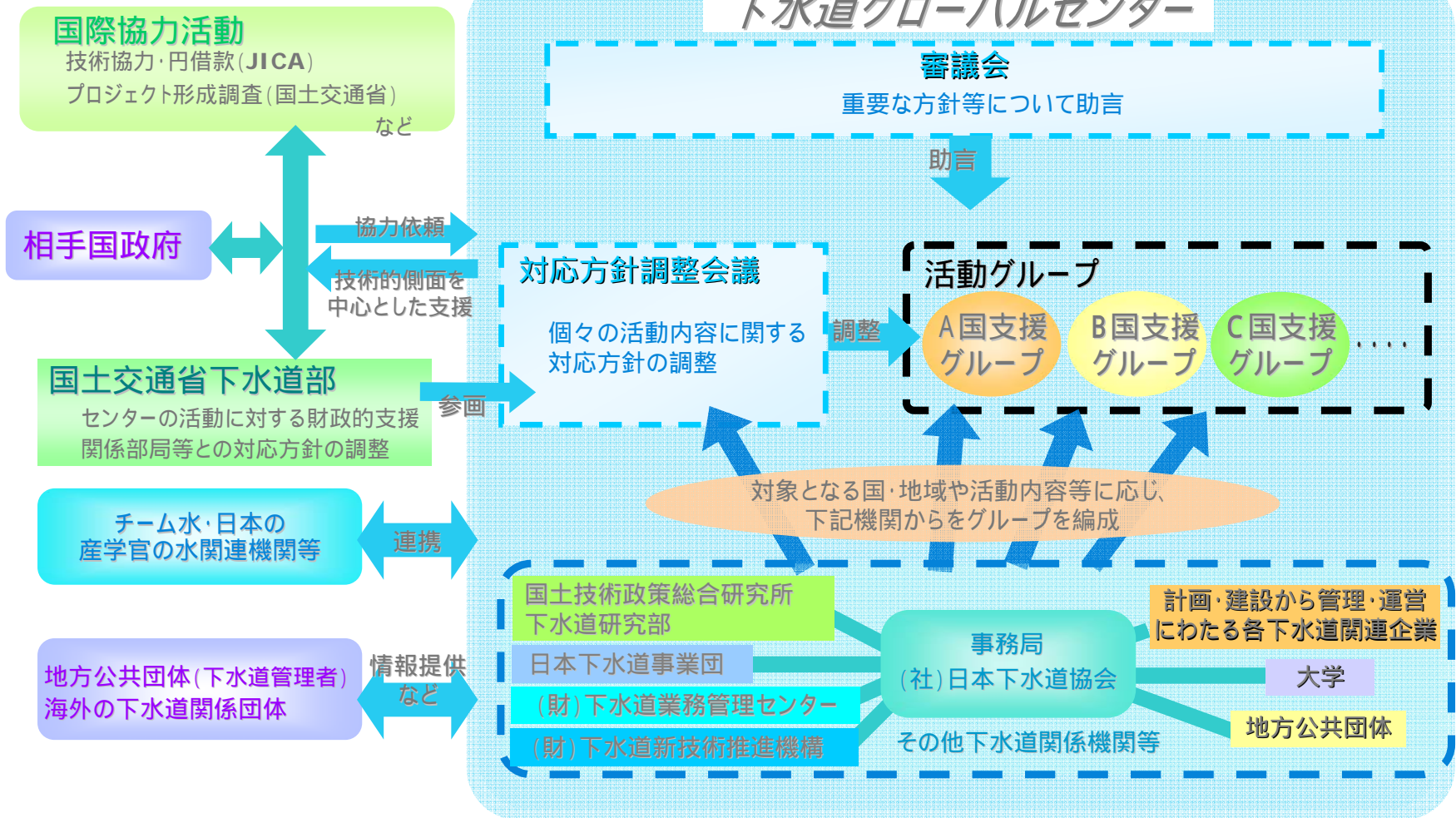
大学

下水道関連企業

その他関係機関

海外の下水道
関係団体

3. 組織の構成



具体的な活動内容

(1) 国際協力活動の展開支援

a. 海外での現地調査・広報活動

現地調査

- 下水道等の普及状況
- 施設の稼働状況
- 管理・運営上の問題
(体制、制度等の整備状況など)
- 質的向上のニーズ
(下水再生水利用、汚泥の資源化など)

本邦技術に関するワークショップ等の開催

▶活動事例（インド水環境ワークショップ 2009年2月）

- 日印交流会議(日本国国土交通省、インド国都市開発省)の一環として実施
- 下水再生水利用に関する政策や膜処理技術をテーマとしたワークショップ、セミナー等を開催
- 参加機関: 日本側・・・国土交通省、日本下水道事業団、(財)下水道新技術推進機構、
下水道関連企業(2社)
インド側・・・都市開発省、バンガロール上下水道局等



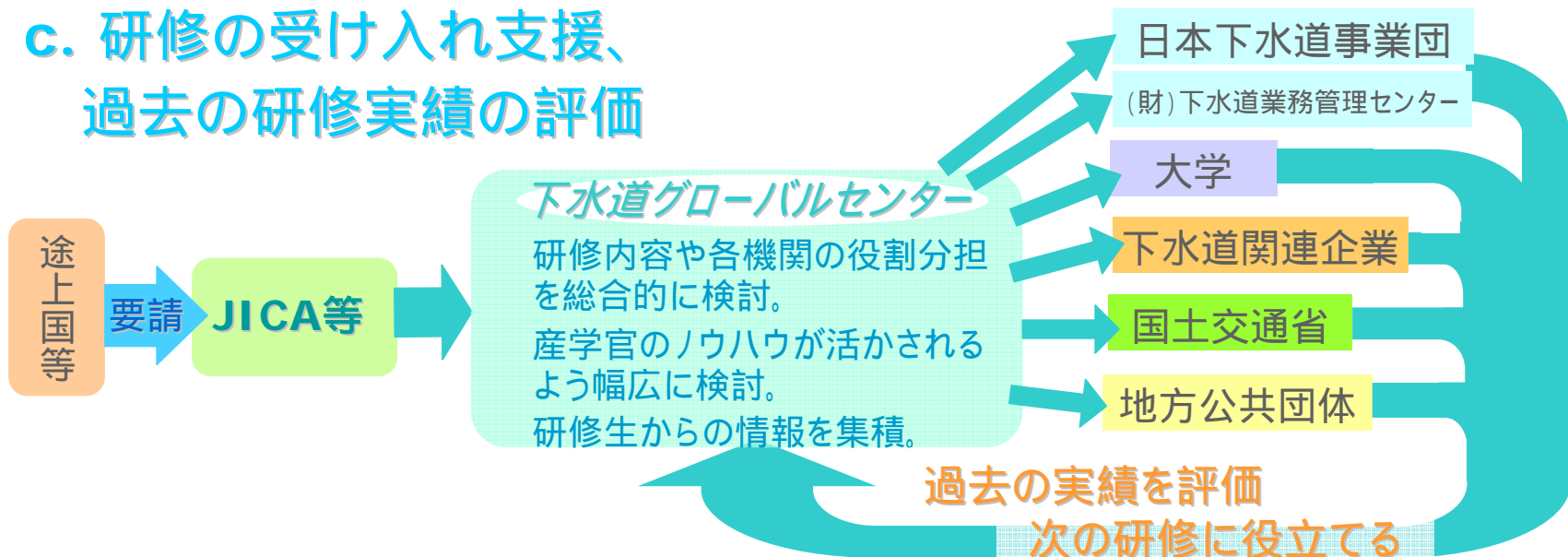
バンガロールでのセミナーの様相

b. 案件形成等の情報提供

我が国のノウハウを結集した持続可能な下水道システムを提案・普及させるためには、案件形成段階の情報が重要。

このため、過去に我が国で研修を受けた海外政府幹部や我が国から海外に派遣されている職員等と連携し、現地の情報収集をし、案件形成等に活用。

c. 研修の受け入れ支援、過去の研修実績の評価



(2) 情報プラットフォーム、海外ネットワークの構築

